

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公開番号】特開2013-246902(P2013-246902A)

【公開日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-066

【出願番号】特願2012-117974(P2012-117974)

【国際特許分類】

H 01 R 12/73 (2011.01)

【F I】

H 01 R 12/73

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月17日(2015.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のプラグ面と第2のプラグ面とを有するプラグ電極を複数有する プラグコネクタと

、前記第1のプラグ面と接触する第1のジャック接触部と、前記第2のプラグ面と接触する第2のジャック接触部と、第3のジャック接触部とを有するジャック電極を複数有するジャックコネクタと、

前記プラグコネクタに設けられており、前記プラグコネクタと前記ジャックコネクタとが嵌合する際に前記第3のジャック接触部と接触し、前記第1のジャック接触部を前記第1のプラグ面が設けられている方向に力を加える突起部と、

を有することを特徴とするコネクタ。

【請求項2】

前記プラグコネクタと前記ジャックコネクタとが嵌合している状態においては、

前記第1のプラグ面と前記第1のジャック接触部とが接触し、前記第2のプラグ面と前記第2のジャック接触部とが接触することを特徴とする請求項1に記載のコネクタ。

【請求項3】

前記第1のジャック接触部と前記第2のジャック接触部とは互いに向き合うように配置され、

前記プラグコネクタが前記ジャックコネクタに嵌合する際、前記第1のプラグ面と前記第2のプラグ面とは、前記第1のジャック接触部と前記第2のジャック接触部との間に嵌め込まれることを特徴とする請求項1または2に記載のコネクタ。

【請求項4】

前記突起部の先端には先端凸部が設けられていることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載のコネクタ。

【請求項5】

プラグコネクタが嵌め込まれるジャックコネクタにおいて、

前記プラグコネクタに設けられた電極の第1のプラグ面と接触する第1の接触部と、前記プラグコネクタに設けられた電極の第2のプラグ面と接触する第2の接触部と、前記プラグコネクタに設けられた突起部と接触する第3の接触部とをそれぞれ有する複数の電極と、

前記複数の電極が支持する筐体と、
を備え、

前記プラグコネクタが前記ジャックコネクタに嵌合する際、前記第3の接触部が前記突起部によって押され、前記第1の接触部が前記第1のプラグ面に対して押されることを特徴とするジャックコネクタ。

【請求項6】

第1のプラグ面と第2のプラグ面とを有するプラグ電極が複数設けられたプラグコネクタと、前記第1のプラグ面と接触する第1のジャック接触部と、前記第2のプラグ面と接触する第2のジャック接触部とを有するジャック電極が複数設けられたジャックコネクタとのコネクタの接続方法において、

前記プラグコネクタには、前記プラグコネクタと前記ジャックコネクタとが嵌合する際、前記ジャック電極に設けられた第3のジャック接触部と接触し、前記第1のジャック接触部を前記第1のプラグ面が設けられている方向に力を加える突起部が設けられており、

前記プラグ電極における前記第1のプラグ面と前記ジャック電極における第1のジャック接触部とが接触し、前記プラグ電極における前記第2のプラグ面と前記ジャック電極における第2のジャック接触部とが接触し、

前記プラグコネクタに設けられた前記突起部が、前記ジャック電極における前記第3のジャック接触部に接触し、前記第3のジャック接触部を介し、前記第1のジャック接触部と前記第1のプラグ面との間に力を加え、

前記接触していた前記突起部と前記第3のジャック接触部とが離れ、

前記突起部と前記第3のジャック接触部とが離れた後、前記第1のプラグ面と第1のジャック接触部との接触、前記第2のプラグ面と第2のジャック接触部との接触が維持されることを特徴とするコネクタの接続方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、第1のプラグ面と第2のプラグ面とを有するプラグ電極を複数有するプラグコネクタと、前記第1のプラグ面と接触する第1のジャック接触部と、前記第2のプラグ面と接触する第2のジャック接触部と、第3のジャック接触部とを有するジャック電極を複数有するジャックコネクタと、前記プラグコネクタに設けられており、前記プラグコネクタと前記ジャックコネクタとが嵌合する際に前記第3のジャック接触部と接触し、前記第1のジャック接触部を前記第1のプラグ面が設けられている方向に力を加える突起部と、を有することを特徴とする。

また、本発明は、プラグコネクタが嵌め込まれるジャックコネクタにおいて、前記プラグコネクタに設けられた電極の第1のプラグ面と接触する第1の接触部と、前記プラグコネクタに設けられた電極の第2のプラグ面と接触する第2の接触部と、前記プラグコネクタに設けられた突起部と接触する第3の接触部とをそれぞれ有する複数の電極と、前記複数の電極が支持する筐体と、を備え、前記プラグコネクタが前記ジャックコネクタに嵌合する際、前記第3の接触部が前記突起部によって押され、前記第1の接触部が前記第1のプラグ面に対して押されることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明は、第1のプラグ面と第2のプラグ面とを有するプラグ電極が複数設けら

れたプラグコネクタと、前記第1のプラグ面と接触する第1のジャック接触部と、前記第2のプラグ面と接触する第2のジャック接触部とを有するジャック電極が複数設けられたジャックコネクタとのコネクタの接続方法において、前記プラグコネクタには、前記プラグコネクタと前記ジャックコネクタとが嵌合する際、前記ジャック電極に設けられた第3のジャック接触部と接触し、前記第1のジャック接触部を前記第1のプラグ面が設けられている方向に力を加える突起部が設けられており、前記プラグ電極における前記第1のプラグ面と前記ジャック電極における第1のジャック接触部とが接触し、前記プラグ電極における前記第2のプラグ面と前記ジャック電極における第2のジャック接触部とが接触し、前記プラグコネクタに設けられた前記突起部が、前記ジャック電極における前記第3のジャック接触部に接触し、前記第3のジャック接触部を介し、前記第1のジャック接触部と前記第1のプラグ面との間に力を加え、前記接触していた前記突起部と前記第3のジャック接触部とが離れ、前記突起部と前記第3のジャック接触部とが離れた後、前記第1のプラグ面と第1のジャック接触部との接触、前記第2のプラグ面と第2のジャック接触部との接触が維持されることを特徴とする。